

やまがた 議会だより

25号

平成21年8月1日発行

発行：山県市議会
編集：議会報編集委員会

〒501-2192
岐阜県山県市高木1000番地1
Tel.0581(22)6840
Fax.0581(22)6852
E-mail gikai@city.gifu-yamagata.lg.jp



庁舎ロビーの七夕飾り(山県市交通安全女性連絡協議会)

CONTENTS

第2回定例会	P 2
第1回臨時会・第2回臨時会	P 2
一般質問	P 3～ 6
所管事務調査報告	P 6～ 7
常任委員会報告	P 8～ 9
第3回(9月)定例会予定	P 9
特別委員会報告	P10
議員セミナー報告	P11
議会活動日誌	P12

第2回定例会

第1回臨時会・第2回臨時会

平成21年第2回定例会を6月10日から29日までの20日間の会期で行いました。

10日には、市長より上程された報告案件4件、条例案件2件・補正予算案件3件の提案説明がありました。19日には補正予算案件3件の追加があり、質疑の後、それぞれ所管の委員会に付託されました。付託を受けて22日に総務文教委員会、23日に産業建設委員会、24日に厚生委員会を開催し慎重に審議しま

した。25日には7人の議員が市政について一般質問を行い、29日には付託案件に対する委員長の報告・質疑・討論・採決を行いました。また、平成21年第1回臨時会を5月13日に開催し、専決処分案件1件、人事案件2件、その他案件1件の議決と議会人事が行われました。5月25日には平成21年第2回臨時会を開催し条例案件3件を議決しました。議決結果は次のとおりです。

第2回定例会の議決結果

種 別	議 案 名	委員長報告	結 果	採決状況
報告案件	平成20年度山県市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について			
	平成20年度山県市後期高齢者医療特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について			
	平成20年度山県市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について			
	山県市土地開発公社経営状況について			
条例案件	山県市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決	可決	全会一致
	山県市企業立地促進条例の一部を改正する条例について	可決	可決	全会一致
補正予算案件	平成21年度山県市一般会計補正予算(第1号)	可決	可決	全会一致
	平成21年度山県市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	可決	全会一致
	平成21年度山県市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	可決	全会一致
	平成21年度山県市一般会計補正予算(第2号)	可決	可決	賛成多数
	平成21年度山県市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	可決	賛成多数
	平成21年度山県市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	可決	賛成多数

第1回臨時会の議決結果

種 別	議 案 名	委員長報告	結 果	採決状況
専決処分案件	山県市税条例等の一部を改正する条例の専決処分について		承認	全会一致
人事案件	山県市高富財産区管理委員の選任同意について		同意	全会一致
	山県市監査委員の選任同意について		同意	全会一致
その他案件	西武芸小学校耐震及び大規模改造Ⅱ期工事請負契約の締結について		可決	全会一致

第2回臨時会の議決結果

種 別	議 案 名	委員長報告	結 果	採決状況
条例案件	山県市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について		可決	全会一致
	山県市常勤の特別職職員の期末手当の特例に関する条例の一部を改正する条例について		可決	全会一致
	山県市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		可決	全会一致

一般質問

7人の議員が登壇し、市政を問う

一人45分の中で質問しました

新型インフルエンザ対策について

横山哲夫 議員

問

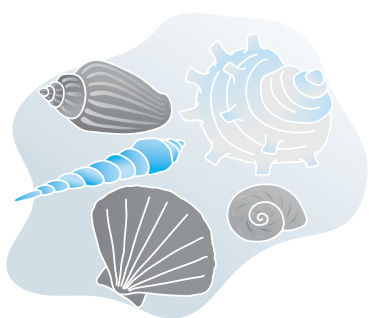
次の点について山県市の対策を伺います。①「山県市新型インフルエンザ対策行動計画」策定について、三月の定例会では早い時期の公表を目指すとの答弁でしたが、いつ公表したか。又、その内容は。②今回の流行について、対応された内容とこれまでの一連の検証を通して、どんな事が浮かび上がったか。③感染防護衣・消毒薬・マスク等の必要な資機材の確保の状況は。④保健所・警察・消防等行政関係機関と山県医師会・薬剤師会等医療関係機関との連携した訓練の実施の予定は。

答

今回は、鳥ではなく毒性の弱い豚インフルエンザに由来する新型インフルエンザのため、県からの情報を受け、行動計画に基づいて柔軟に対応を進めてきたところです。①については、四月末に策定を終え五月十六日に市のホー

ムページ上にて公表いたしました。②については、普段からの危機管理体制の重要性を再認識することができました。③については、使い捨てマスク一万六千枚、医療用マスク千枚、ゴム手袋百枚、消毒薬二十四本、感染防護衣等十セットを備蓄しております。④については、段階毎の適切な対応についての確認などを行い、また新型インフルエンザの市内発生を想定した関係機関との情報伝達訓練を行っていきたいと考えております。

(保健福祉部長)



自主運行バスについて

宮田軍作 議員

問

市民生活の足の確保と、地域間の交流を活発に楽しく生活してもらえる手段として、自主運行バス事業を実施していると考えます。事業の内容と今後の計画は。

答

自主運行バスは、本市が岐阜乗合自動車㈱に運行を委

託するバス路線で、運行経費から利用収入と県補助金を差し引いた年間約九千九百五十九万円を本市が負担しています。

今後は、各路線の乗車状況や市民の皆様の見直しなどを踏まえながら、路線の見直しなどを検討していきます。

(総務部長)

通行量増加に伴う伊自良地域の安全対策について

問

平井坂トンネル開通一年目の通行量を調べました。昨年九月の調査より百五十台増加し八百五十台/日でした。通行量の多い時間帯は学生の登下校と重なるが、安全対策は。

答

道路幅員が狭くなる藤倉・大森地内の小中学生や高齢者の方々など、歩行者の安全確保に向けて、通過車両を少しでも減少させるため、農免道路へ迂回するよう道路案内標識を今年五月に設置しました。これにより、車両が迂回するようになりました。

(産業建設部長)

市政座談会について

問

昨年、第一回市政座談会が、市内六会場で開催された。市民からは、評価する多くの意見を聞きます。昨年の実績と今後の計画は。

答

昨年の市政座談会では、市自治会連合会との共催によ

り、各地区自治会のご協力のもと、六会場計五百二十名の市民の皆様にご参加をいただき、多数の貴重なご意見を伺うことができました。今後については、自治会連合会のご意見を伺いながら検討していきます。

(総務部長)

西武芸、富波、乾小学校統合の進捗状況と富波、乾、両小学校の統合後の利用は

石神 真 議員

問 美山小学校の統合に対する進捗状況と、今後に残された課題は。

また、各自治会としては日常的に人の出入りが活発な活用方法にと期待しておりますが、統合後の校舎の活用方法については、どのように考えておられるのか。

答 平成二十二年四月、美山小学校の開校に向け、統合委員会及び各部会にて、校章・校歌・通学方法・

P T A規約・服装等を慎重に協議を行っています。工事については、教室の増改築・耐震補強・グラウンド整備等を進めています。また、三小学校の子供たちが新しい学校で伸び伸びと学習出来るよう交流学习・交流事業を展開しています。統合後の校舎等の活用について現時点では、富波小は教育センター的機能をもった施設、乾小は農産物の加工やそば打ち体験が行える施設を検討しています。

(教育長)

税の徴収対策について

問 前年度に対しての収納比率及び金額と滞納者に対しての対応はどのように扱っているのか。また、差し押さえられた物件等についてはどう処理されているのか。

答 現年度分の平成二十年度収納率は国民健康保険税を含めて九十七・〇%、収納額は三十九億五千三百七十七万八千九百六十一円です。平成十九年度は収納率九十七・二%、収納額が四十一億七千四百九十七万七千七百円です。

比較すると収納率で〇・二%、収納額で二億二千百十九万八千七百三十九

円減少しています。次に、過年度分の平成二十年度収納率は二十・七%、収納額が八千八百五十四万四千六百四十四円です。平成十九年度は収納率二十五・一%、収納額が一億九百一十一万五千九百十四円です。比較すると収納率で四・四%、収納額で二千五十七万三千三百円減少しています。滞納者に対しては、催告書等により納付の催告を行い、悪質滞納者に対しては差押等の滞納処分を実施しています。差押物件について動産は預貯金等の差押え、インターネッ

ト公売を実施しました。また、不動産は今年度共同公売に参加する予定です。

(市民環境部長)

ヒブワクチンの公費助成について

尾関律子 議員

問 子どもの細菌性髄膜炎の原因は、「インフルエンザ菌b型」

ヒブ(H i b)によるものが約六割。乳児が自然感染し、感染した四人に一人に重い後遺症が残るとい病です。ヒブワクチンの接種がとても有効です。四回接種するのに約三万円です。公費補助を考えては。

答 ヒブワクチンは、細菌性髄膜炎を予防するのに有効であると考えられていますが、受けるかどうか、保護者が任意に選択する予防接種です。

そのため公費助成することは、現在のところ考えておりませんが、細菌性髄膜炎の予防手段として、ワクチンの接種のP Rを健康診査時や、広報紙を通じて啓発していきます。

(保健福祉部長)

女性の健康支援策について

問 女性の生涯の健康をサポートする「女性のサポートプラン」

が提案されています。生涯の予防接種や治療費、健康診断などの情報を記載した「健康パスポート」の発行は。女性特有のがん対策の子宮頸がん乳がん検診の無料クーポン券と検診率の向上の考えは。

答 「健康パスポート」については、

検診結果や健康づくりに関するリーフレット等を綴じ込む健康手帳を発行し、活用を推進していきます。

また子宮頸がん乳がん検診の無料クーポン券は、国の平成二十一年度補正予算にて実施する「女性特有のがん検診推進事業」で実施する予定です。

(保健福祉部長)



介護保険・老人福祉事業関連について

杉山正樹 議員

問

高齢化が進む中「人生の後期を家族と共に安心して暮らせ、自分の人生はよかったなあ」と思っていただけ介護・老人福祉事業が市政にとって大事であり一層の充実を図らねばと思いますが、本市の介護保険料は他の市と比較してどうか。本市の要支援・要介護の認定者数と老人ホーム等の入所者数また入所待機者は何人位あるのか。認知症予防と認知症ケアシステム構築の具体的進め方について。在宅介護されます家族の方々の負担軽減と相当手厚い補助をするべきと考えますがいかがでしょうか。

答

本市の介護保険料は、概ね県下の平均保険料基準額を推移しています。

要支援・要介護の認定者数は、要支援の方は百七十五人、要介護の方は七百五十五人です。

また施設入所者の方は二百二十三人、待機者数は百九十三人で、この中には要介護一・二や要支援者の方が約半数おみえになります。

認知症予防及びケアシステムの構築については、周囲の人が認知症について正しい知識を持ってサポート

していく必要があります。そのため

こうしたサポートできる「認知症サポーター養成講座」を行い、多くの方に受講頂き、住民同士が互いに支え合いながら生活できる環境づくりを進めていきたいと考えております。

また介護手当は、考えておりません。家族手当を認めることは一部の人に介護の負担を押しつけることにもつながりかねません。そのため介護技術はプロに任せて、家族の方には、介護される方の精神的支援をしていただけるような在宅での支援をしていきたいと考えております。

(保健福祉部長)



不要な乾電池等の回収について

上野欣也 議員

問

不要となった蛍光灯管や乾電池の収集を、岐阜市では無料で行っています。本市は処分量と収集費が課題ということですが、回収の実施はできないのでしょうか。

答

蛍光灯及び乾電池の分別回収につきましては、山県市廃棄物減量等審議会が平成十九年十一月か

ら行われ、その審議会の中で、蛍光灯、乾電池を不燃ごみとして収集されており、環境面からみた適正な処理処分を行うための分別回収を早期に実施するよう市長への要望事項として、今年五月に答申書に盛り込まれました。

本市といたしましても、具体的な実施方法を早急に検討し、実施に向け取り組んでまいります。(市民環境部長)

小学校の英語活動について

問

小学校五年生・六年生で新しく週一時間の英語が始まります。総合的な学習の実施時間・指導計画・英語専門教師の配置人数・補助教員の時間数について伺います。

答

総合的な学習の英語活動の時間数は、五・六年生で十五

三十五時間実施し、文科省の英語ノートに準拠する年間指導計画を活用しています。英語教師については十一名配属し、補助教員については、四名のALTで全小学校五・六年生で年間三十五時間学習しております。

(教育長)

小中一貫校の導入について

問

教育再生会議は、小中九年制一貫校の制度化を提言しています。義務教育を九年間の長いスパーンで捉え、学力向上等を目指すものです。山県市で導入の考えは。

答

現行の学校制度の歴史の中で新しい試みと考えています。本市においては現状の学校システムの中で校種間の円滑な接続を図り、出来る限りの小中学校の交流・連携を進めております。今後各地の取り組みにおける成果や課題について注視し検討してまいります。

(教育長)

教育委員会の情報発信や説明責任

寺町知正 議員

問

市教委のホームページは情報が少ないがどうするのか。法律改正で決められた「教委の点検評価」につき、他市とは違って、事前に実施しなかった理由は何か。

答

ホームページでの情報発信・公表等については、情報公開

の重要性に鑑み、極力掲載し内容の充実に努めてまいります。教育委員会点検評価については、本年度策定の教育振興計画及び市の総合計画の後期基本計画との整合性を図り点検評価を実施する予定にしております。

(教育長)

行政処分などに関する認識

問

役所の権限の行使として、今年春の情報公開での不適切をどう考えるのか。一般市民の納得できないとの声に真摯に対応できるか。職員研修などを行うべきだ。

答

先の情報公開は、本来の行政手続ではなかったため、開示

決定の変更決定をしました。今般の情報公開制度をはじめ各種行政処分について、改めて職員に対し研修等を行っていきたいと考えています。今後とも、市民の皆様のご意見などを真摯に受け止め、より一層、信頼される行政を目指していきます。

(総務部長)

産廃処理施設計画の現状

問

大桑に産業廃棄物の中間処理施設の計画があるが、中断していた。5月、計画を変えた申請が出てきた。処理施設心臓部の壁をなくすが影響は？市はどうするのか。：

答

建て屋の壁がなくなった理由については、企業が事前申請を行う事ですので市としては、わかり

かねるところです。また、影響については、建て屋の壁がなくなる事によって、騒音や振動、悪臭などが悪化するのではないかと予想はできると思いますが。今後、地域住民の生活環境が悪くならないよう、十分に注視していきたいと考えております。

(市民環境部長)

所管事務調査報告

各常任委員会の所管する今年度事業の進捗状況を調査するため、所管事務調査を行いましたので、その報告をまとめました。

総務文教委員会(六月十二日)

全国瞬時警報システム

津波警報・緊急地震速報・弾道ミサイル発射情報等緊急情報を人工衛星を用いて送信し、市民に緊急情報を瞬時に伝達するシステムである。

消防本部

高機能消防司令センターでは、実際に通報訓練を行い詳細な説明を受けた。また、救急救命士の資格、スパー救命士の資格、救助工作車の機能や利用方法について説明を受けた。



高機能消防司令センター

高富中学校の経営

昨年度後半からの生徒指導を中心に説明がされた。数人の生徒による器物を破損する行為などが続き、教師への暴力行為があったので警察へ通報し逮捕された。その後も、喫煙・服装の乱れ・授業を抜け出すことが続いた。そこで、地域の方々、保護者、生徒、学校が一丸となって協力し努力した。その結果、生徒指導で問題のあった生徒たちを含め、全員で卒業式を祝うことができた。現在校長を中心に、全員で「誰もが安心してがんばれる学校」をモットーに学校経営がされている。

市総合運動場の指定管理

市総合運動場の現況について、順調に運営されていると説明があった。平成十九年度と二十年度の比較では、利用者が八千七百五十九人増の一・〇五倍、収入は利用料を値上げしたこともあり、三百七十三万一千円増の一・四四倍となっている。スタッフについては、職員二名と受付・管理・清掃を十五名が交代で行っている。

美山中学校校舎等改築事業

三月に体育館の竣工式があり、現在学校・社会体育で使用中。校舎については二階建てで外観は扇形になっており、秋の完成を目指して急ピッチで工事中である。

伊自良中学校の経営

学校の現状は、各学年一クラスで合計百一人の生徒がいる。スポーツ系部活動には全員入っているが、入部の偏りがある。三歳児を基準とした場合、学校適正規模で統合検討対象となる小学校の説明があった。

産業建設委員会(六月十五日)

鳥羽川改修事業

平成二十四年開催の「ぎふ国体」までに富岡排水機場西まで河川改修を行う。
今年度は二十三年の夏頃開通予定の(仮称)新川橋の橋梁下部工事と護岸工事並びに用地買収を実施する。

主要地方道

関・本巣線整備事業(米野工区)

新川橋から井戸尻交差点までの南側に三・五mの自歩道が計画されている。

市道〇一〇一七号線道路改良事業(小倉地内)

交通量も多く、カーブで見通しも悪く、学童の通学や歩行者の通行に支障を来しているため、歩道二mを含め幅員七・五mで延長百三十mの道路改良を行うもの。

市道二三〇九八号線整備事業

国道二五六号高富バイパスに取り付ける市役所庁舎裏側の道路改良工事である。

林道日永線開設事業

日永西と日永東を結ぶ林道で、今年度は五百七十mの支線工事を行うもの。

旧緑資源幹線林道事業

(神崎地内)

この事業は、総延長七千九百mで平成二十一年度までに二千二百mが完成する見込みで進捗率は二十八%である。
なお、この事業は緑資源の解散に伴い

「岐阜県山の道地域づくり」交付金事業として今後実施していく事になっている。



旧緑資源幹線林道事業 美山区間(神崎地内)

椿森林づくりプロジェクト

(椿地内)

岐阜中央森林組合と極東森林開発(株)が共同体を設立し、作業路網の整備と高性能林業機械を組み合わせた低コストの択伐事業を行うことで、長伐期・非皆伐による維持可能な林業経営をめざして、平成十九年度から二十三年度までに二万四千mの作業路開設と四百七十五haの間伐を実施しようとするものであり、平成二十年度までに作業路開設は一万二千四百九十五m、間伐七十一haを実施している。

厚生委員会(六月十六日)

保育園

乾保育所は、自然とのふれあい体験や交流会が重視され、園児十七名が楽しく元気に過ごしていた。

伊自良保育所は、共通目標の「心豊かな生き生きとした子ども」を目指し百三名の園児が活動していた。時間外保育や障がい児保育にも力を入れている。

療育センター・子どもげんきはうす

ピッコロ療育センターは、幼児二十八名、学童六名が通所している。発育や運動、ことばの発達に心配のあるお子さんの支援活動をしている。

子どもげんきはうすは、放課後児童クラブと子育て支援センターの活動をしている。前者は四十四名の児童が利用。後者は安心して子どもを生み健やかに育てる環境づくりの実現を図って活動している。

美山荘・青波福祉プラザ

美山荘は六十五歳以上の一人暮らしや夫婦で生活されている方や同居する上で介護を必要とする方に、健康で生き甲斐のある日々を送っていただく援助が行われている。

青波福祉プラザは、NPO法人どんぐり会が山県市の指定管理を受け、市内全域の六十歳以上の方で会場までこられる方を対象に、とじこもりを予防する支援活動等を行っている。

円原水源地

ミネラル分が多くおいしい水であり、水質検査では問題はないが、加熱することによるカルシウムの除去が課題である。



円原水源地

(仮称)山県市クリーンセンター

工事は計画通り推移している。機械類の設置も完了した。十月末には運転が可能となり、十二月からゴミを実際に投入し調整を行い、平成二十二年三月十日に引渡しが予定されている。視察当日は、ごみピットやプラント機械設備の、電気・計装制御設備の工事が着々と進められていた。

常任委員会報告

付託案件について、発言を基に各委員会でまとめました。

総務文教委員会報告

一付託案件について

議第四十七号

平成二十一年度山県市一般会計補正予算(第一号)(総務文教関係)

議第五十号

平成二十一年度山県市一般会計補正予算(第二号)(総務文教関係)

主な質疑

議第四十七号では

- Q** 情報管理費著作権について、質疑でもあったが五団体とはどのような団体か。
- A** 五団体とは、日本脚本家連盟・日本シナリオ作家協会・日本文藝家協会・日本音楽著作権協会・日本芸能実演家団体の五団体で、日本脚本家連盟が代表で手続きを行っています。
- Q** 著作権の使用料は今後も払うということか。

A 再送信を行っている以上、著作権は支払わなければならないというふうに決まっています。

Q 教育費の財源更正の理由は。

A マイクロバスの補助金で、補助基準額が三百四万円から二百五十万円に

引き下げになった事により、過疎対策事業債が増え国庫補助金が減ります。

議第五十号では

Q 経済危機対策臨時交付金事業で消防団救助用資材設備の整備事業費千五百五十四万円について。

A 二十二年予算に予定していた部分の前倒しです。内容は避難時の豊千人分、避難用仮設トイレ十四台、石油ストーブ四十台、扇風機五十台で、体育館二館分です。その他、防災倉庫の塗装・修理費、緊急ネットワークシステムの整備です。

Q 学校放送設備費について。

A 各学校とも放送設備が老朽化しており、特に防災に関して緊急放送等があることから、小学校九校、中学校一校を計画しています。

Q パソコン購入について、学校関係と職員用パソコンの単価の違い。

A 学校用パソコンと職員用はある程度仕様が違います。

Q 電子黒板について。

A 周辺機器という事で、授業中の使いやすさを考えて、投影方式の電子黒板を各学校に一台以上、大規模な学校では複数台を検討しています。

Q 公費ではエコポイントはあるのか。なければ値引きはあるのか。

A 臨時経済対策の交付金の中では、エコポイントに触れられていないため今後確認します。

Q 高富・伊自良中央公民館の耐震補強について現状と補強後の数値は。

A IS値は、高富中央公民館〇・四二、

伊自良〇・六になっていますが、避難場所にもなっていることから〇・七五で改修を行う予定です。

Q 太陽光パネルが高富小学校・中学校と美山中学校に設置されると実際どれくらいの電気料金が賄えるのか。

A 日照時間等にもよりますが、現在高富中学校の年間の電気料金が約七十万円で、パネルを設置すると最大で年間約五十万円賄えます。また、学校では環境教育があり、CO₂を減らすことなど色々な活動を行っており、太陽電池で発電できる事は、子供達に大変意味のある指導の場です。

採決の結果全議案とも全会一致で原案の通り可決すべきと決定しました。

産業建設委員会報告

一付託案件について

議第四十六号

山県市企業立地促進条例の一部を改正する条例について

議第四十七号

平成二十一年度山県市一般会計補正予算(第一号)(産業建設関係)

議第五十号

平成二十一年度山県市一般会計補正予算(第二号)(産業建設関係)

主な質疑

議第四十七号では

Q 緊急雇用創出事業の環境パトロール委託料は、なぜこの六月に出されたのか。

A 当初は月八回実施予定でしたが十回に増やすためです。

Q 森林整備及び環境整備事業の内容説明を。失業者対策の雇用で、枝打ち等の森林の育成的な作業や交通安全対策等で環境に合わせた事業です。

議第五十号では

Q 市営住宅の取り壊し内容は。

A 寺洞住宅で四棟のうち二軒長屋が三棟空きになったことで、当初予算の二棟と補正の一棟で三棟を取り壊すものです。尚、もう一つの長屋は一棟の半分に住民が居られるため切り離しての取り壊しは難しいです。

Q 市営住宅解体後の跡地利用は。

A 跡地はまず、行政財産から普通財産にして総務課での管理にして、その後使用方法を考えてまいります。

Q 岩佐地内の公園新設工事について場所と内容。

A 場所は旧パチンコ屋の駐車場部分で面積は千八百八十五㎡です。また、規模は地元自治会からの要望もあり、今後精査して利用価値が高く、しかも事業費を抑えての公園を計画しています。

Q 市道鳥羽川東部線舗装改良工事で三路線を舗装する理由と経済効果は。

A 建設課は農道整備にも関係があり、自治会要望もございまして今回全体を見回したところ、路盤改良まで済んでおり、上部の舗装工が残っているためです。また、行き止まりなので農業関係者の方だけ使用という事で経済効果

は多くありませんがやりかけの仕事なので計上しました。

Q 山県市全体で途中で終わっている工事がいくつかある中で工事箇所を選んだ理由。

A 自治会要望の出ているところから全体を眺めて三十カ所を選び順位をつけました。

Q 地域要望を前提に三十カ所をピックアップしてさらに精査したものは過去何年分の中から抜き出したのか。

A 地元自治会、水利組合等の要望では十年越しのものもありますが、一部国体のために行うものもあります。

Q 自治会要望と前倒しのものがあるのは何故か。

A 自治会要望の中で、長年要望がありながら予算が付かなくてできなかったものもあるからです。

Q 富波地区の美山小学校に通うための通学路の整備は。

A 排水路に蓋をして通学路の安全を確保するものです。

採決の結果全議案とも全会一致で原案の通り可決すべきと決定しました。

厚生委員会報告

一付託案件について

議第四十五号

山県市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

議第四十七号

平成二十一年度山県市一般会計補正予算(第一号)(厚生関係)

議第四十八号

平成二十一年度山県市国民健康保険特別会計補正予算(第一号)

議第四十九号

平成二十一年度山県市水道事業会計補正予算(第一号)

議第五十号

平成二十一年度山県市一般会計補正予算(第二号)(厚生関係)

議第五十一号

平成二十一年度山県市公共下水道事業特別会計補正予算(第一号)

議第五十二号

平成二十一年度山県市水道事業会計補正予算(第二号)

主な質疑

議第四十七号では

Q 市民相談室の改修工事に伴い、相談実績及び利用想定人数は。

A 昨年度の相談者数は八十人でした。今年度は昨年度より多くなっています。市民の皆さんが利用しやすい空間にしたいと考えています。

Q 障害者福祉費の扶助費の負担金・給付金の内容は。

A 通所サービスの利用促進事業給付金は、送迎サービスとして伊自良苑・ワークス伊自良・WSBバイオ・桜美寮の四事業所を想定しています。また、他市の通所サービス利用促進事業の負担金として、十七人の想定をしています。事業運営円滑化事業給付金は、自立支援法の改定により従前の月払いによる報酬額の九十%を下回った場合に

その差額について助成します。

議第四十八号では

Q 議第四十五号との関連の出産一時金の内容は。

A 平成二十一年十月から二十三年三月三十一日までの間に出産した時に支給する出産育児一時金について、三十八万円を四十二万円に変更するため、二十一年度分として二十五人分×四万円＝百万円を補正するもので、広報やCCYで市民に周知できるよう努めます。

議第五十号では

Q 女性の為の健康診査における年齢基準及び今後の事業について。

A 女性特有の子宮頸がん、乳がん検診を特定の年齢者を対象にして今回のみ無料検診するものですが、来年以降は国の方針等を参考にして対処したいと考えています。

Q 高富児童館管理に伴う旧山県県事務跡の購入と今後の利用について。

A 建物の耐震性について充分調査します。今後の利用は高富児童館の移設を考えていますが、詳細設計については今後つめてまいります。子どもたちの安全と利用しやすさを第一に進めてまいります。

議第五十一号では

Q 高富浄化センターの工事委託料の内容は。放流水質の高度処理の必要性からリン

A の除去を目的に凝集剤の添加施設を前倒しで行います。

Q 公共下水道事業について、当初予

算八億千百万円に新たに四億五千六百万円の追加工事となるが、物理的に単年度で工事は完成できるか。

A 昨年度詳細設計を行っており、工期的には間に合うと思います。

Q 今回の公共下水道事業の工事により全体計画の短縮はあるか。

A 今回の前倒しがあっても全体計画期間の変更はありません。

採決の結果全議案とも全会一致で原案の通り可決すべきと決定しました。

二その他

税務課長から市・県民税の納税通知書の税額の記載漏れがあった件について発言がありました。原因は今年から始まった年金特別徴収者について、情報センターのプログラムの設定誤りであったことなどの経緯について説明があり、今後は内容点検等を徹底し再発防止に努める旨の報告がありました。

平成21年第3回(9月)議会定例会予定

月	日	曜日	会 議	内 容
9	7	月	本会議	提案説明
	14	月	本会議	質疑
	15	火	総務文教委員会	付託案件審査
	16	水	産業建設委員会	付託案件審査
	17	木	厚生委員会	付託案件審査
	18	金	本会議	一般質問
	24	木	本会議	一般質問
	25	金	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決

※会議は原則午前10時より開会します。
※傍聴の受付は住所・氏名のご記入だけです。
お気軽に傍聴にお越し下さい。

特別委員会中間報告

東海環状自動車道及び幹線道路整備促進特別委員会

行財政改革推進特別委員会

平成二十一年五月二十六日に開催した、委員会の調査結果を報告致します。

国道二五六号バイパス

・十九年度～二十年度で三田又川右岸・左岸の橋台工事完了。二十一年度～三田又川橋梁上部工工事、二十二年～二十三年で三田又川～農免道路までの道路改良工事を施工予定。

国道四一八号

〔中洞地内〕

・二十一年度～一件の用地買収後、未改良部分の工事を完了予定。

〔畑野・水品地内〕

・二十一年度～改良工事・用地取得を実施、二十三年度事業を完了予定。

〔県単 葛原工区〕

・二十一年度～用地買収し、二十二年～二十三年で工事を完了予定。

東海環状自動車道

〔東深瀬地区〕

・二十年八月～十一月 地権者・地元自治会等関係者に設計説明会開催。

・二十年十一月～二十一年三月 鳥羽川～トンネル坑口までの用地幅杭設置。

・二十一年二月～三月 水利用調査及び自然環境調査。

・二十一年四月～五月 境界立会、家屋等物件調査を実施。今後は年内に土地鑑定評価・家屋等補償額算定・用地交渉の予定。

〔西深瀬・高木地区〕

・二十一年三月までに十八カ所のボーリング調査完了。

・二十一年二月～三月 自然環境調査を実施。今後は概略設計説明会の予定。

平成二十一年五月二十八日に開催した、委員会の調査結果を報告致します。

第二次山県市行政改革大綱実施計画に基づき、市民環境部と産業建設部の所管課長より、進捗状況について説明を受けた。

初めに、市民環境部より説明があり、下水工事の進捗率については加入率（公共枋設置）は九十%、接続率は十六・六%との報告に、委員より推進の遅れの指摘があり、推進協議会へ接続率の向上を図るようにとの要望をしましたが、三月時点では加入者千七百四世帯中千二百二十二戸が加入金支払済みです。

次に産業建設部より説明があり、各イベントのあり方、指定管理者導入の状況、各公園の管理方法、放置自転車のサイクリングロードでの有効利用等についての質疑がありました。

イベントの有り方については予算配分を一箇所集中でなく、方式も地域の手作りのなものにするなど、まつり実行委員会との協議が必要であるとの指摘がありました。

るとの指摘がありました。

新たにグリーンプラザ美山等の指定管理者導入については今検討中であり、香りの森公園については施設管理だけでなく周辺一帯の公園も含めた指定管理を、只今検討中であるとの報告を受けました。

各公園の管理については、自治会やボランティア団体との協働で維持管理できるように、検討中である旨報告を受けました。

放置自転車のサイクリングロードでのレンタサイクルとしての利用は完了したとの報告でした。

世界的な不況の中、国も地方も財源不足、今後とも益々厳しい状況が続くと思われます。当委員会は行財政運営に関する監視機能と検査機能に合わせ政策立案機能の研究を図り、行財政改革推進に努めたいと思います。



二十一年度第一回市町村議会

議員セミナー報告書

四月九日～十日に滋賀県大津市の
全国市町村国際文化研修所に於いて

●自治体はどう変わるかについて

東京大学名誉教授 大森彌講師

●海外の地方自治制度と比較しつつ
これからの地方議会を考える
について

明治大学公共政策専門職大学院ガ
バナンス研究科教授 山下茂講師
●さらなる議会改革を目指して
「地方議会はどう変わるか」フォー
ラムディスカッション形式により
四人が登壇

講師は
政策研究大学院大学教授
井川博資氏
北海道大学公共政策大学院教授
木幡浩氏
三重県四日市市市議会議長
日置記平氏
北海道福島町議会議長
溝部幸基氏

井川氏の発言要旨

- 1 地方議会をめぐる議論では
監視機能の弱さ、議会審議の形
骸化がもたらす弊害
- 2 政策立案、政策提言(議員提出条
例案など数の少なさの指摘
- 3 住民代表機能の不十分さでは、

住民の意思の把握と反映の欠如
4 地方議会の合理化、コスト節減で
は、定数や報酬の削減について

二 議会改革のポイント

- 1 住民代表機能の充実強化では、住
民代表として意思の伝達強化策と
住民への説明責任(住民への情報提
供と理解の確保の方法等の検討
- 2 多様な民意の把握、意見、利害
の調整による合意形成への活動
- 3 議会審議・議員相互の政策議論
の活性化を促す方式の樹立
- 4 監視(チェック)、政策形成能力向
上の為の情報収集と確保、ため
まぬ学習・研修、議員懇談会(政
策研究)、外部(他議会)との連携
- 5 首長との緊張感ある均衡のとれ
た関係の確立、自立性の確保
- 6 期待される議会であるためにはま
ずチェック機能を重視する小さな
議会か、それとも政策活動等幅広
く活動する大きな議会にするのか
の方向性を確立する必要性
- 7 議員のイメージではヨーロッパ
に見られるボランティア名誉職
的議員か、専門的な公選職かな
ど国や自治体より異なる

木幡氏の発言要旨

- 一 議会が変われば真の自治へのう

ねりが生ずると前置きし

- 1 二元代表制下の建設的対立関係
- 2 議会改革の実現をとおして、自
治の前向きな変革のうねりを期
待する

二 議会改革

- 1 議会と執行部との、緊張感ある
相互理解。議会と住民との、信
頼関係の前提による三者(議会、
執行部、住民)の活性化をもた
す議会改革
- 2 議会の役割に対する住民議論の前
提での、効果的な政策の実現、住
民活動の活性化等につながってい
るかの議会改革の成果の検証

四日市市議会議長 日置記平氏の発言要旨

一 四日市市のあらまし

- 人口約三十一万五千人、世帯数約
十二万七千世帯、面積二〇五・五八km²、
議員定数三十六人、一般会計歳出決
算額に占める議会費の割合〇・六%
二 議会活性化に向けた取り組みに
ついて

- 1 市政活性化推進等議員懇談会の
設置
- 2 議員政策研究会の設置
- 3 正副議長選出における立候補制
の導入
- 4 議員提案による政策条例、制定
改正の取り組みについて
- 5 議会への市民参加の取り組みに
ついて

北海道福島町議会議長 溝部幸基氏の発言要旨

一 福島町のあらまし

人口約五千六百人 面積一八七・
二三km² 議員定数十二人

二 議会改革と議会基本条例の制定
と内容について

1 わかりやすく町民が参加する議
会

- ・ すべての会議を原則公開
- ・ 議案、調査資料等の事前情報提供
- ・ 議会への参画を奨励する規則
- ・ 議会報告会の開催
- ・ 議会、議員評価、議会白書の公表
- ・ 議長、副議長を志す者の本会議
での所信表明

2 しつかりと討議する議会
・ 主体的、機動的な議員活動をす
る通年議会

- ・ 質疑、一般質問の回数と時間制
限の撤廃
- ・ 適正な議員定数、議員歳費の決定
- ・ 傍聴者の討議参加など自由討議
による合意形成

3 町民が実感できる政策を提言す
る議会

- ・ 町長との善政競争による政策の
提言
- ・ 政策形成過程の行政や事務評価
の実施や資料提出
- ・ これらの発言に対し参加者からの
質疑、応答がありセミナーが終了し
ましたことをご報告いたします。

(文責 杉山正樹)

* 議会活動日誌 *

4月

9日(木)～10日(金)

市議会議員特別セミナー



市消防操法大会

5月

1日(金) 議会運営委員会

13日(水) 第1回臨時会

18日(月) 議会運営委員会

25日(月) 第2回臨時会

26日(火) 東海環状自動車道及び幹線道路整備促進特別委員会

28日(木) 行財政改革推進特別委員会
青少年育成市民会議総会

31日(日) 市消防操法大会

6月

1日(月) 議会運営委員会

4日(木) 全員協議会
議会報編集委員会

10日(水) 第2回定例会本会議(提案説明)

11日(木) 議会運営委員会

12日(金) 総務文教委員会

15日(月) 産業建設委員会

16日(火) 厚生委員会

19日(金) 本会議(質疑)

22日(月) 総務文教委員会

23日(火) 産業建設委員会

24日(水) 厚生委員会

25日(木) 本会議(一般質問)

29日(月) 本会議(委員長報告・質疑・討論・採決)
議会運営委員会



市少年の主張大会

編集後記

このたびの改選により、私たち六名が編集委員としてお世話になることとなりました。限られた紙面の中ではございますが、市民の皆様には議会活動をわかりやすく正確にお伝えし、親しまれる議会報となるよう、一同気持ち新たに頑張りますので、今後ともよろしくお願いを申し上げます。

(文責 影山春男)



編集委員
委員長 影山 春男
副委員長 杉山 正樹
委員 久保田 均
後藤 利瑗
尾関 律子
石神 真